

札幌市議会議員 **池田ゆみ** 2021年3月号
市政事務所だより

【発行】日本共産党 池田ゆみ市政事務所 〒062-0904 豊平区豊平4条10丁目2-13高木ビル1階
 【HP】 <http://www.yumi-ikeda.com/> 【電話】 818-8367 【FAX】 818-8368



**医療・介護・福祉従事者に
無料PCR検査実施へ**

札幌市は3月から、580の高齢者・障がい者支援施設、療養型の医療機関で働く従事者4万2200人を対象に、月1回の無料PCR検査を実施することになりました。

日本共産党市議団の要請実る

昨年4月には介護老人施設・茨戸アカシアハイツで集団感染が発生、17人が亡くなりました。高齢者や障害者が共同で生活している施設や医療機関で集団感染を防ぐには、感染者を早期に見出し、保護・隔離することが重要です。そのために無症状の人も含む幅広い検査を行う必要があります。

日本共産党市議団は、議会での公費によるPCR検査の拡大を求めるとともに、秋元市長に対し、6回に渡り要請してきました。

昨年11月30日には、村上仁市議団長が日本共産党北海道委員会とともに要請し、医療

**定期的PCR検査幅広く
新型コロナ特別委員会で池田市議**

新型コロナ特別委員会で池田市議

1月20日に開かれた新型コロナウィルス感染症対策調査特別委員会で、池田ゆみ市議はすすきの地区における飲食店従業員への公費負担による



要請する村上市議団長(11月30日)



新型コロナ特別委員会で質問する池田市議

「このようにいかがが緊急に問われている」と語り、「医療、介護施設、学校、保育、学童保育などで働く職員や、出入りする関連業者などを対象とする定期的な検査を実施できるようにすべき」と求めました。

さらに池田市議は、「他国

と比較して日本の検査数は少なすぎるといわれている。クラスターを押さえ込むには検査体制の強化と検査件数を飛躍的に増やすことがカギになり、科学的根拠に基づいた対策である」と述べ、「必要となる場所に網羅的に検査できる仕組みをいっそう強化すべき」と訴えました。

機関や福祉施設など、集団感染リスクの高い施設に勤務する職員や利用者に、PCR検査を実施するよう求めました。対応した町田隆敏副市長は「重要な課題だと思っている」と答えました。

市議団が医療、介護関係者から声を聞いて回り、議会できり返して要請してきた結果、ようやく実現にこぎつけました。

向ヶ丘通(月寒東) 右折信号実現に

池田ゆみ市政事務所の右折信号(月寒東2条16丁目)については今年度中に設置予定との回答がありました。

同信号は北野通と向ヶ丘通の交差点で、朝夕には白石側から福住方面に直進する車が多く、福住側から北野方面に向かう車が右折できず渋滞していました。

なお、西岡3条8丁目の福住・桑園通と水源地通交差点の右折信号設置、北野通月寒東3条19丁目吉田川公園入口の横断歩道用信号を一般信号にとの要望については、設置予定はないとの回答でした。引き続き要望していきます。



右折信号設置予定の向ヶ丘通交差点



「条約批准を」と陳述する意見書提出者(奥)

核兵器禁止条約の批准求める

意見書継続審議に

さつぽろ平和行動実行委員会などから出された「政府に核兵器禁止条約の批准を求める意見書」が1月の市議会財政市民委員会で審査されました。

意見書の提出者を代表して4人が陳述をおこなった。質疑が行われました。

日本共産党の佐藤綾市議(白石区選出)は、「平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会に加盟し、核兵器廃絶平和都市宣言をしている札幌市は、市民の平和への願いを受け止め、核兵器禁止条約への参加を日本政府に求めていくべき」と

池田市政事務所における生活相談の内訳 (分類重複有り)

生活保護	生活保護など社会保障制度の運用	生活苦、滞納、差し押さえ	病気、障害	債務、金銭トラブル	介護	財産、相続
9	13	4	2	6	3	6
賃金、働き方、労災	子育て、教育	業者、施設とのトラブル、近隣トラブル	道路、公園、除雪など地域要求	国、市の制度、政策	新型コロナ関連	その他
2	3	9	8	23	14	8

新型コロナに関わる相談多く

2020年池田ゆみ市政事務所における相談

意見書の採択を強く迫りました。同様の意見書は2019年の第4回定例市議会でも、日本共産党など3党派が提出しましたが、自民、公明

池田ゆみ市政事務所では、生活や市政に関わる相談を行っています。また、月1回の弁護士による法律相談も行っています。2020年は新型コロナの感染拡大で3密防止が求められたた

が反対し否決となりました。しかし、今回は「継続審議」扱いとなり、平和を願う市民や被爆者の思いが市議会を動かし、今後につなげる一歩前進となりました。

め、弁護士による相談が一部電話による対応になるなど、相談しにくい面もありましたが、例年並みの述べ91件の相談がありました。このうち法律相談は22件で昨年より若干少なくなりました。

相談の中身としては、新型コロナに関する相談が14件と多くありました。その中身としては特別定額給付金や各種支援金の給付申請に関するもの、失職や営業の不振に伴う支援に関するものがほとんどでした。住民登録がされていないと定額給付金がこないという方もあり、住民登録をして給付にこぎつけた事例もありました。政府の一斉休校や支援制度のあり方など政策に対する

こんにちは！池田ゆみです



3月に入り、いつもなら「もうすぐ春」というと、うれしさを感じますが、素直にそう思えないコロナ禍の毎日です。本来なら訪問して市政の報告をさせて頂いています。昨年からは、ほとんど訪問できず申し訳ないと思います。

市議会では、新型コロナ特別委員会に所属し、PCR検査の拡充やコロナ禍で経営に影響が出ている中小・

「国、市の制度、政策」に関わる23件のうち新型コロナ関連は11件でした。これらの意見は池田ゆみの議会活動に生かしました。新型コロナ以外では、生活保護に関する相談が相変わらず多く、市民の苦しい生活の実態がうかがわれます。また、高齢化社会を迎え、相続に関わる相談も増えています。

小規模企業への市独自支援を求める質疑を重ねてきました。事業当事者の要望と議会での会派を超えた議論の力合わせでホテルやすすきの地区の飲食業だけでなく、全市的な支援へ、またホテルや飲食店に関連する「おしぼり業者、食品卸業、清掃業」等にも支援が広がる方向が示され、前進が見られています。第1回定例市議会が開催されています。引き続き、コロナ禍で苦しむ市民の暮らしと営業を守るために、市民の声を市政につなげて頑張ります。

お困りごとは池田ゆみ市政事務所へ

新型コロナで仕事を失った、家賃が払えない、学費が払えない、税金、保険料の減免ができないか、支援金を申請したいが手続きがわからないなど、お困りごとは池田ゆみ市政事務所 818-8367へお電話ください。池田ゆみ市政事務所 (36号線きたえーるに入る角、接骨院隣) は平日の10時~16時の間開いています。無料の法律相談会も毎月第3木曜日午後2時から行っています。弁護士が対応します。こちらは予約が必要です。818-8367へお電話を